

テックドクターによる現地診断(福岡県遠賀郡岡垣町)

国道3号岡垣BPの当該箇所は、本年度(令和6年度)の特定道路土工構造物点検時に歩道のクラックが昨年度と比較し+3m 延長し、開口幅が+20mm 開口した。そのため、変状の原因を明らかにすることを目的に歩道下の盛土のり面でボーリング調査と地すべり観測を実施している。

今後の対応策検討の為テックドクターに現地診断をしていただき、意見を伺った。

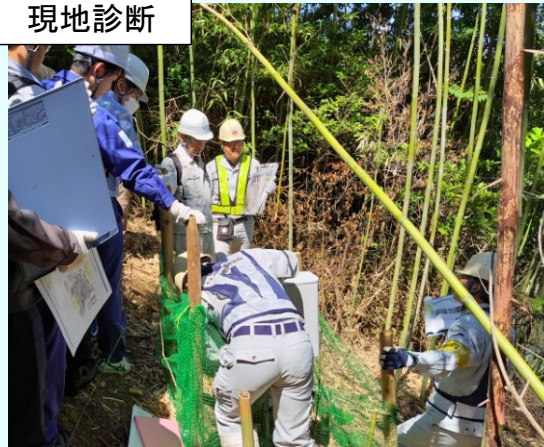
出席者:九州工業大学 永瀬名誉教授、廣岡教授、北九州国道事務所

● テックドクターによる現地診断(令和6年5月29日)

現地診断



現地診断



防災検討会



【テックドクターの見解】

- 以前から歩道では顕著なひび割れが継続して発生しており、原因究明が必要。
- 法尻に湧水があることから、常に地下水があることが考えられる。
- 今回の地質調査結果、動態観測及び今後の追加調査結果を踏まえ、対応を検討する必要がある。

ボーリングおよび動態観測箇所を1か所追加し以降も継続して観測を行う。